

平成 25 年 11 月 9 日
本部事務局

「関西ワールドマスターズゲームズ 2021」の招致について

I これまでの検討経緯

スイス・ローザンヌに本部を置く国際マスターズゲームズ協会（IMGA）のカイ・ホルム会長から、井戸敏三関西広域連合長あてに、平成 25 年 7 月までにワールドマスターズゲームズ（WMG）の開催提案書が提出されれば、2021 年大会の開催地を日本に指定したい旨の書簡が届けられ、これを機に関西広域連合委員会において、以下のとおり、対応を検討してきた。

別添 1 : WMG の概要

平成 25 年 3 月 28 日 第 31 回関西広域連合委員会

カイ・ホルム会長あてに、①WMGの関西への招致に向けた検討作業を進めること、②8月のトリノ大会を見てさらに検討を深めたうえで招致について判断すること、を内容とする返書を発出することとした。

また、検討のためのプロジェクトチームを設置することとした。

平成 25 年 4 月 25 日 第 32 回関西広域連合委員会

返書案を協議し、「7 月末までに開催提案書の「草稿」を提出して 8 月のトリノ大会に視察団を派遣し、より高い完成度を伴った開催提案書を提出する」旨の返書を発出することとした。

また、これまでから WMG の関西招致に取り組んでいるスポーツコミッション関西（高橋一夫近畿大学教授、長ヶ原誠神戸大学大学院准教授）から、WMG の概要等について聴取した。

平成 25 年 5 月 8 日

カイ・ホルム会長あてに、上記返書を発出。

平成 25 年 5 月 23 日 第 33 回関西広域連合委員会

トリノ大会に、平井、門川両委員を団長とする視察団を派遣することとした。

平成 25 年 7 月 25 日 第 35 回関西広域連合委員会

開催提案書草稿を確認するとともに、①基本はウェルカムであること、②提出した開催提案書草稿は、最終的な提案書ではないこと、③トリノ視察後に最終的に判断し、9 月中には回答することの 3 点を内容とする会長あて連合長名書簡を発出することとした。

また、関西版マスターズ大会の平成 26 年度中の創設をめざし、検討を進めることとした。

平成 25 年 7 月 31 日～8 月 5 日（*一部は、8 月 11 日の大会閉会まで残留調査）

トリノ大会に視察団を派遣し、大会等の状況を調査するとともに、カイ・ホルム会長との面談を行った。また、開催提案書草稿を提出し説明を行った。

平成 25 年 8 月 29 日 第 36 回関西広域連合委員会

視察団の報告を踏まえ、①関西広域連合として 2021 年大会の関西開催をめざすこと、②一過性のイベントに終わることがないように関西版マスターズ大会を創設すること、③関西が一丸となって進めるため、官民連携の準備組織を早期に立ち上げることを合意した。

別添 2：トリノ大会視察概要

平成 25 年 9 月 21 日 第 37 回関西広域連合委員会

官民連携の準備組織として、行政（関西広域連合及び関係府県市）、経済界、体育協会、学識者による準備委員会を設置することとした。

また、IMGA に提示する収支計画案及びスポーツコミッション関西が試算した経済波及効果の概要を報告した。

別添 3：収支計画概算及び経済波及効果の試算

平成 25 年 9 月 26 日 第 1 回準備委員会

別添 4：準備委員会の構成

以下のとおり、第 1 回準備委員会を開催した。

○開催日時：平成 25 年 9 月 26 日（木）16:00～17:00

○場 所：リーガロイヤル NCB

○出席者：井戸連合長、熊谷徳島県副知事、塚本京都市副市長、田村堺市副市長
ほか各構成府県関係者
森関西経済連合会会長、灘本大阪商工会議所専務理事、齋藤関西経済同友会常任幹事・事務局長ほか経済団体関係者
各府県体育協会関係者

高橋近畿大学教授、長ヶ原神戸大学大学院准教授

○議 案：準備委員会設立趣意書、準備委員会規約

IMGA への申し入れ書（別紙 1）、開催収支計画（別紙 2）

内 容

- 提出された各議案について承認された。なお、IMGAへの申し入れ書及び開催収支計画についてはIMGA事務局へ9月26日付送付、10月1日着を確認。
- 平成25年度事業計画及び運営経費について意見交換が行われ、運営経費については経済界とも連携し幹事会で調整することとなった。

(平成25年度事業計画)

- ・大会の開催に必要な方針等の検討
- ・国等への支援要請活動
- ・IMGA査察受入れ、国内競技団体等への協力依頼・調整
- ・実行組織の設立準備

(平成25年度運営経費 11,000千円程度)

II 当面の取組

(1) IMGAの査察受入れ

査察日程：平成25年11月6日(水)～11月13日(水)

査察団(5名)

国際マスターズゲームズ協会(IMGA)会長	カイ ホルム
国際トライアスロン連合(ITU)会長	マリソル カサド
国際バスケットボール連盟(FIBA)元会長	ボブ エルフィンストン
国際マスターズゲームズ協会(IMGA)事務局長	ジェンズ ホルム
国際マスターズゲームズ協会(IMGA)マネジャー	サマンサ ハイワード

査察行程：

11月6日(水)	関空到着 神戸泊
7日(木)	施設等見学(兵庫、神戸、堺) 神戸泊 ユニバー記念競技場、グリーンアリーナ神戸、ほっともっとフィールド神戸、淡路夢舞台、J-GREEN堺
8日(金)	施設等見学(鳥取) 鳥取泊 ハワイ夢広場、潮風の丘とまり、 コカコーラ・ウエストパーク、鳥取砂丘
9日(土)	施設等見学(京都) 京都泊 西京極総合運動公園、京都アクアリーナ、京都府立体育館
10日(日)	IMGA会議(京都) 京都泊 ※関西での開催が決まれば同日調印式を行う予定
11日(月)	大阪城、東大寺等見学 京都泊
12日(火)	施設等見学(京都) 和歌山泊 平安神宮、京都市武道センター
13日(水)	視察等見学(和歌山) 関空出発 上富田スポーツセンター、和歌山ビッグホエール、 紀三井寺公園、和歌山マリーナシティ

(2) 基本合意書（案）

関西での開催が決まれば、調印する文書として、基本合意書をIMGAに提案(別紙3)

III 関西版マスターズの検討状況

第1回PT会議（各府縣市スポーツ振興担当課長で構成）を開催し、開催方法等を検討

○ 基本的な考え方

- ・ 幅広い年齢層を対象としたオープン型（競技団体への登録不要）の大会を開催
- ・ 当面は既存のマスターズ大会や生涯スポーツ大会を活用（登録必要な大会も対象）

○ 実施案

26年度～

各府縣市で既に実施されている大会に冠をつける

- ・ 競技種目は、WMG実施予定30種目及び生涯スポーツ主要種目から選定
- ・ 優勝者に優勝杯・賞状を、入賞者に賞状を授与

将来検討

関西全体大会の開催

2013年9月26日

国際マスターズゲームズ協会
Kai Holm 会長

冒頭にあたり、ワールドマスターズゲームズの発展に向けた会長並びに貴協会のご努力に敬意を表するとともに、イタリア・トリノにおける第8回国際大会の成功を心からお喜び申し上げます。

さて、関西広域連合委員会から、平井委員（鳥取県知事）と門川委員（京都市長）を団長とする視察団が大会運営の状況調査のためにトリノ市を訪問した際は、Kai Holm 会長並びに Jens V Holm 事務局長から、多くの有益な助言をいただくことができました。両団長からは、ワールドマスターズ大会の発展に取り組む会長並びに理事の皆さん、事務局の方々の真摯な姿勢を理解することができたと聞いています。また、会長との面談では、①関西として正式に招致するなら10月1日までに収支計画を提出すること、②関西開催が決定すれば開催権利金（500万€）の10%を2016年に支払い、残額を5年間の分割払いとすること、③本年の11月第2～3週目を目処に貴協会による査察を受けること、などが確認できた旨報告を受けました。

以上のことを踏まえ、8月29日に開催した関西広域連合委員会において関西招致の方針について協議しました。その結果、関西広域連合として2021年大会の関西での開催をめざして必要な手続きを正式に進めることとし、その準備のための官民連携組織を立ち上げることなどを決定しましたのでお知らせします。

この決定にもとづき、関西においては、既に、関西経済連合会、関西経済同友会をはじめとする関西の主要な経済団体、関西広域連合並びに関連する府県及び市、関連する府県の体育協会等で構成する準備委員会を設立しました。

については、査察の結果、貴協会より開催の承認を得られた場合には、2021年大会の関西での開催をお受けすることを正式にお伝えします。お約束に従い収支計画書を提出するとともに、準備委員会を代表して、責任をもって大会運営に必要な財源確保のための可能な限りの手段を講じます。

貴協会におかれては、2021年大会の関西開催に対し、引き続きご支援を頂けますようお願いいたします。

11月に関西にお越しの際には、豊かな自然、おいしい食事など、秋真っ盛りの関西をたっぷりお楽しみいただけるものと思います。準備委員会一同、心からお待ちしています。

ワールドマスターズゲームズ 2021年関西大会
準備委員会会長
関西広域連合長 井戸 敏三（兵庫県知事）

ワールドマスターズゲームズ 2021 年関西大会 収支計画概算書

(単位：百万円)

収 入		支 出	
① 参加費 (@20,000×3万人)	600 程度	① 大会運営費	1,250 程度
② 開催府県市	700 程度	② 大会準備費	1,400 程度
③ 民間等 (スポンサー、助成等)	700 程度	内 開催権利金	約 650
④ 公的補助	700 程度	内 広告宣伝費	100 程度
⑤ 物販収入等	100 程度	内 マーケティング費	100 程度
		③ 予備費	150 程度
合 計	2,800 程度	合 計	2,800 程度

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 開催に関する基本合意書

国際マスタースゲームズ協会（以下、「IMGA」）からの 2012 年 10 月 10 日の日付文書での 2021 年ワールドマスタースゲームズ日本招致に関する提案に対し、関西広域連合として同大会を関西へ招致する手続を進める旨決定したことを踏まえ、関西の主要な経済団体並びに関連する府県及び市、関連する府県の体育協会の代表等で構成するワールドマスタースゲームズ 2021 年関西大会準備委員会（以下、「準備委員会」）が設立された。

IMGA と準備委員会は、2021 年のワールドマスタースゲームズを関西地域の府県及び市において開催することに関し、以下の通り合意した。

1. 関西ワールドマスタースゲームズ 2021 の開催

IMGA は、関西広域連合により提案された関西地域を 2021 年ワールドマスタースゲームズの開催地として決定する。関西広域連合は、2021 年ワールドマスタースゲームズの開催について IMGA の責任あるパートナーであることを了承する。

2. 名称

関西ワールドマスタースゲームズ 2021（英文名：KANSAI World Masters Games 2021）とする。

3. 組織委員会の設置

遅くとも 2014 年 9 月 30 日までに、準備委員会を改組して、関西ワールドマスタースゲームズ 2021 組織委員会（以下、組織委員会「OCOG」）を設置する。関西広域連合は、OCOG を全面的に支援する。

4. ワールドマスタースゲームズ開催地契約の締結

IMGA と準備委員会は、IMGA と OCOG が署名するワールドマスタースゲームズ開催地契約を 2014 年中に締結するよう契約内容（負担金の支払時期及び金額を含む）についての具体的協議を行う。

5. IMGA への負担金

関西ワールドマスタースゲームズ 2021 の IMGA への負担金は 500 万ユーロとする。

2013 年 11 月 10 日、IMGA と準備委員会の代表が本基本合意書に署名し、英語により本書二通を作成した。

President of the International Masters Games Association
Kai Holm

関西ワールドマスタースゲームズ 2021

準備委員会会長

井戸 敏三

（関西広域連合長・兵庫県知事）



「ワールドマスターズゲームズ」とは

大会誘致に向けて

国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年ごとに主催し、30才以上の成人・中高年の一般アスリートを対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会です。

- 予選はなく登録すれば大会出場可能。競技資格や選抜基準はなく、唯一の参加基準は年齢のみで上限はなし。
- 約30競技から成るプログラムに複数エントリーすることが可能。
- 男女・年代別(通常5才ごと)に種目が行われ、各年代別にメダルが授与される。
- 元プロや元オリンピック選手も出場し、キャリアを超えて一般アスリートと競技を行う。
- チームスポーツやペアスポーツは多国籍チームでの出場も可能。
- 平均9日間の大会期間と前後の観光滞在のため、生涯スポーツ大会では最長の滞在期間。

ワールドマスターズゲームズとオリンピックとの違い

	ワールドマスターズゲームズ	オリンピック																																				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 原則4年ごとに開催されるマスターズ世代を対象とした世界規模の国際総合スポーツ競技大会。 ● 2010年から冬季大会も開催されている。 ● 国や地域を背おわず、誰でも参加できる。 ● ツーリズム・イベントとして認知されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4年ごとに開催される世界のアマチュアのトップクラスを対象とした国際総合スポーツ競技大会。 ● 各国・各地域から代表を選抜して参加する。 																																				
統括組織	世界:IMGA ヨーロッパ:EMGA、アジア、日本を統括する組織は現在はない。	世界:IOC 日本:JOC																																				
近年の実施(予定)都市	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>[夏季]</th> <th>[冬季]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2002:メルボルン</td> <td>2010:ブレッド</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2005:エドモントン</td> <td>2015:セストリエーレ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2009:シドニー</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2013:トリノ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2017:オーケランド</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		[夏季]	[冬季]	2002:メルボルン	2010:ブレッド		2005:エドモントン	2015:セストリエーレ		2009:シドニー			2013:トリノ			2017:オーケランド			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>[夏季]</th> <th>[夏季]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2000:シドニー</td> <td>2004:アテネ</td> <td>1998:長野</td> </tr> <tr> <td>2008:北京</td> <td>2012:ロンドン</td> <td>2002:ソルトレイク</td> </tr> <tr> <td>2016:リオデジャネイロ</td> <td></td> <td>2006:トリノ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2010:バンクーバー</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2014:ソチ</td> </tr> </tbody> </table>		[夏季]	[夏季]	2000:シドニー	2004:アテネ	1998:長野	2008:北京	2012:ロンドン	2002:ソルトレイク	2016:リオデジャネイロ		2006:トリノ			2010:バンクーバー			2014:ソチ
	[夏季]	[冬季]																																				
2002:メルボルン	2010:ブレッド																																					
2005:エドモントン	2015:セストリエーレ																																					
2009:シドニー																																						
2013:トリノ																																						
2017:オーケランド																																						
	[夏季]	[夏季]																																				
2000:シドニー	2004:アテネ	1998:長野																																				
2008:北京	2012:ロンドン	2002:ソルトレイク																																				
2016:リオデジャネイロ		2006:トリノ																																				
		2010:バンクーバー																																				
		2014:ソチ																																				
選手の参加条件	無条件、参加料を払った人全員	各国オリンピック委員会(NOC)が選抜																																				
大会規模	● 選手参加者数:95か国、約28,000人 (シドニー大会時)	● 選手参加者数:204か国、約11,000人。 (北京大会時)																																				

別添1



INTERNATIONAL
MASTERS
ASSOCIATION

大会誘致に向けて

ワールドマスターズゲームズの開催地と大会規模

開催年	開催国	開催都市	開催立候補地	参加者数	参加国数
1985年 第1回	カナダ	トロント		8300	61
1989年 第2回	デンマーク	ヘアニング、オールボー オーフス(3都市開催)		5500	76
1994年 第3回	オーストラリア	ブリスベン・クイーンズランド州	ミネアポリス	25000	71
1998年 第4回	アメリカ	ポートランド・オレゴン州	ダーバン	25000	100
2002年 第5回	オーストラリア	メルボルン：NSW州	ブダペスト、サラメント	26000	97
2005年 第6回	カナダ	エドモントン	セベリア、ローマ、オタワ	22000	88
2009年 第7回	オーストラリア	シドニー：NSW州	滋賀、ミュンヘン、 モントリオール、コペンハーゲン	28000	95
2013年 第8回	イタリア	トリノ	コペンハーゲン、 ストックホルム、 アムステルダム、デトロイト	19000 (視察報告)	107 (視察報告)



INTERNATIONAL
MASTERS
GAMES
ASSOCIATION

大会誘致に向けて

ワールドマスターズゲームズ主催団体(IMGA: International Masters Games Association)

<IMGA 会長>

Kai Holm

元IOC(国際オリンピック委員会)メンバー、
元NOC(国内オリンピック委員会)デนมマーク会長

<IMGA 理事>

Tamas Ajan

Denis Oswald

Gian-Franco Kasper

Gianni Gola

Bob Elphinston

Phil Craven

Anders Besseberg

Don Porter

Marisol Casado

Pat. McQuaid

Jose Perurena

Richard L. Carrion

John D. Coates

Carlos A. Nuzman

IOCメンバー、国際ウェイトリフティング連盟(IWF)会長

IOCメンバー、国際ボート連盟(FISA)会長

IOCメンバー、国際スキー連盟(FIS)会長

国際ミリタリースポーツ評議会(CISM)元会長

国際バスケットボール連盟元会長

IOCメンバー、国際パラリンピック委員会(IPC)会長

国際バイアスロン連合(IBU)会長

国際ソフトボール連盟(ISF)会長

IOCメンバー、国際トライアスロン連合(ITU)会長

IOCメンバー、国際自転車競技連合(UCI)会長

IOCメンバー、国際カヌー連盟(ICF)会長

IOC理事、IOC財政監査委員会議長

IOC理事、NOCオーストラリア会長、スポーツ仲裁裁判所(CAS)所長

IOCメンバー、NOCブラジル及びNOCリオ会長

ワールドマスターズゲームズ (WMG) トリノ大会視察概要

2021年 WMG の関西招致の検討に当たり、平井鳥取県知事、門川京都市長を団長とする視察団が2013年開催地であるイタリアのトリノ市に8月1日から3日までの日程で、視察調査を行った。

1 関西広域連合トリノ視察団 (合計 20名)

〔団長〕 平井 伸治 関西広域連合委員 (鳥取県知事)

門川 大作 関西広域連合委員 (京都市長)

〔団員〕 中塚 則男 関西広域連合本部事務局長 他 関係府県市職員等 12名

橋本 智裕 サントリーホールディングス(株)

高橋 一夫 近畿大学経営学部教授、長ヶ原 誠 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授
他3名 (スポーツコミッション関西)

2 視察先

イタリア トリノ市 (2013 WMG 開催地)

3 訪問日程

① 両団長による調査 (平成 25年 8月 1日～8月 3日 3日間)

月 日	時間	日 程	内容等
8月 1日 (木)	9:00	トリノ大会組織委員会による大会説明会に参加 (大会運営センター、競技会場 (射撃、ボート、カヌー) の視察)	大会運営センター等を視察し、大会運営方法などについて説明を受ける。
	18:00	トリノ市歓迎レセプションに出席	トリノ市、トリノ大会組織委員会、IMGA 等関係者と意見交換し、関西での開催検討をアピール
8月 2日 (金)	9:30	IMGA 会長、事務局長と会談	広域連合での検討状況を説明し、今後の手順等を確認
	14:40	トリノ市長と会談	WMG 開催に際しての留意点等をヒアリング
	17:00	IMGA 理事会に出席 (事務局対応)	開催提案書の概要を説明
8月 3日 (土)	9:10	競技視察 (自転車(トラック)、陸上、バレーボール、バスケット)	各競技の実施状況を確認
	20:30	開会式 (トリノ市 カステッロ広場) に出席	関西での開催検討をアピール 日本選手団を激励

② 事務局実施による調査（平成 25 年 8 月 4 日～8 月 11 日 8 日間）

月 日	時間	日 程	内容等
8 月 4 日 (日)	9:00～ 13:30	競技視察（バドミントン、卓球、ラグビー、ビーチバレー、バレーボール）	競技の実施状況を確認
	15:20～ 16:20	シドニー組織委員会元委員長と会談	シドニー大会の詳細、IMGA との交渉状況等ヒアリング
8 月 5 日 (月)	10:00	組織委員会事務局訪問	事務局の状況訪問調査
	14:00～ 17:00	競技視察（空手、柔道）	地元競技団体会長、ALBA 市世話役と懇談
8 月 6 日 (火)	9:30～ 13:00	競技視察（自転車ロードレース）	競技の実施状況を確認
	16:10～ 17:10	オークランド組織委員会会長、事務局長と会談	オークランドの準備状況ヒアリング
8 月 7 日 (水)	10:00～ 15:00	競技視察（アーチェリー、水泳）	競技の実施状況を確認
8 月 8 日 (木)	8:00	競技視察（ボート）	競技の実施状況を確認
	12:30	競技視察（ヨット）	競技の実施状況を確認 地元競技団体会長と懇談
	16:00	競技視察（陸上）	競技 特に表彰式の状況を確認
8 月 9 日 (金)	14:00	IMGA 会長・事務局長と会談	今後の進め方について確認
	17:00	トリノ組織委員長と会談	トリノ大会の状況について確認
8 月 10 日 (土)	10:00～ 13:00	競技視察（水泳、テニス）	競技の実施状況を確認
8 月 11 日 (日)	9:30	IMGA 事務局と打ち合わせ	今後の連携について
	11:30～ 16:00	競技視察（ソフトボール）	競技の実施状況を確認
	20:30～ 22:30	閉会式（トリノ市バレンチノ公園 大会スポンサービレッジ付近）	閉会式実施状況確認

4 大会の状況等

- ・参加者等 選手及び付添人等：19,000 人、家族及び友人等：5,000 人、107 か国から参加
- ・現地の様子 主要駅前や会場施設周辺等に WMG の看板・バナー等が掲示され、協賛店には張り紙が見られた。大会中盤以降は旧市内のあちこちに大会参加者（ID 着用）が繰り出してショッピングを行い、カフェレストランでは深夜まで他国選手を交じえ、飲食を通して交流を楽しんでいた。
- ・競技会場 大会の競技会場は、全て既存施設（市民球場、市民体育館 等）を活用

5 今後の手順等

IMGA 会長・事務局長との会談から以下の発言があり、今後の手順等を確認。

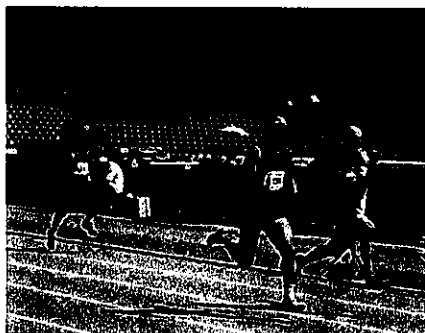
- ・ IMGA としてもアジアに展開したい
- ・ 関西広域連合の提案書は非常に積極的な内容でよくまとまっているが、現時点では財政面（収支計画及び当局の保証）が欠けているので直ちに OK とは言えない

(手順等)

- ・ 10月1日までに 収支計画等財政面について提出
- ・ 11月第2～3週に 現地査察（会長、理事、事務局長等 6名）
- ・ 競技種目や会場は、今後、相談しながら決めればよい

【参考】IMGA について

- ① IMGA は、国際競技団体の協会や各国のオリンピック委員会等と同様に、国際オリンピック委員会に認定された団体の一つ。
- ② 国際パラリンピック委員会のパートナー団体であり、国際スポーツ連盟 (Sport Accord) の加盟団体。
- ③ 理事メンバーには多くの IOC メンバーが参加。



駅前風景 応援席 入賞者

自転車選手 100m

開会式場



収支計画概算と経済波及効果の試算

1 2021年大会の収支計画概算について

①事業規模

トリノ大会の視察結果、2009年シドニー大会の事業規模（約28.6億円：現レート換算）、2017年オークランド大会の想定事業規模（約28億円：同）を勘案し、事業規模を28億円程度と想定。

②収入

収入は、参加費（選手負担）及び物販収入、開催府県市の負担、スポンサー収入等民間等負担、公的補助により確保する。

〔参加＋物販収入：開催府県市：民間等：公的補助＝1：1：1：1〕

③支出

- ・大会運営費 競技資材、人件費、会場資材、表彰、記録など競技・式典運営費のほか、関係者の宿泊、交通対策費等を計上。
- ・大会準備費 事務局費、マスコミ等広告宣伝費、国内外マスターズ大会でのプロモーションなどのマーケティング費等のほか、開催権利金（6.5億円（500万€））を計上。
- ・予備費 費用増への対応として一定額を計上。

④収支計画案（見込み）

（単位：百万円）

収入		支出	
① 参加費	600 程度	① 大会運営費	1,250 程度
② 開催府県市	700 程度	② 大会準備費	1,400 程度
③ 民間等 (スポンサー、助成等)	700 程度	内 開催権利金	約 650
④ 公的補助	700 程度	内 広告宣伝費	100 程度
⑤ 物販収入等	100 程度	内 マーケティング費	100 程度
		③ 予備費	150 程度
合計	2,800 程度	合計	2,800 程度

* 開催権利金（500万€）は、1€＝130円で換算。

* 民間等の助成は、民間のスポーツ振興団体の助成制度等を要請。

* 公的補助については、制度創設を含め国等へ要請。

* 上記のほか、宝くじの発行等を検討。

2 経済波及効果の試算

1の収支計画概算をもとに試算した経済波及効果は、約140億円となる。

(単位：百万円)

	項目	金額
直接効果	事業費	2,032
	観光消費額	7,027
	合計	9,059
1次波及効果	事業費	784
	観光消費額	3,605
	合計	4,389
2次波及効果		607
合計		14,055

*スポーツコミッション関西による試算

*平成17年近畿地域産業連関表を使用（近畿経済産業局管内の経済波及効果を試算）

*直接効果の事業費は、開催権利金6.5億円を除く事業費21.5億円のうち、域内需要額を試算

*直接効果の観光消費額は、大会参加者を競技者・同行者・家族を含め6万人とし、シドニー大会の事例を参考にした1人あたり消費額を使用して試算

<1人あたり消費額（参加人数）>

国内日帰り 44,941円（18,000人）

国内宿泊 173,308円（12,000人）

海外 283,081円（30,000人）

*2次波及効果は、直接効果と1次波及効果によって生み出された雇用者所得のうち消費に当てられた部分が新たに生み出す効果

準備委員会の構成

団体名等	職	氏名
関西広域連合	連合長	井戸 敏三
関西広域連合	副連合長	仁坂 吉伸
滋賀県	知事	嘉田 由紀子
京都府	知事	山田 啓二
兵庫県	知事	井戸 敏三
和歌山県	知事	仁坂 吉伸
鳥取県	知事	平井 伸治
徳島県	知事	飯泉 嘉門
京都市	市長	門川 大作
堺市	市長	竹山 修身
神戸市	市長	矢田 立郎
関西経済連合会	会長	森 詳介
大阪商工会議所	会頭	佐藤 茂雄
京都商工会議所	会頭	立石 義雄
神戸商工会議所	会頭	大橋 忠晴
堺商工会議所	会頭	前田 寛司
関西経済同友会	代表幹事	鳥井 信吾
滋賀県体育協会	会長	河本 英典
京都府体育協会	会長	武田 暹
兵庫県体育協会	会長	井戸 敏三
和歌山県体育協会	会長	仁坂 吉伸
鳥取県体育協会	会長	油野 利博
徳島県体育協会	会長	飯泉 嘉門
学識経験者	近畿大学教授	高橋 一夫
学識経験者	神戸大学准教授	長ヶ原 誠

